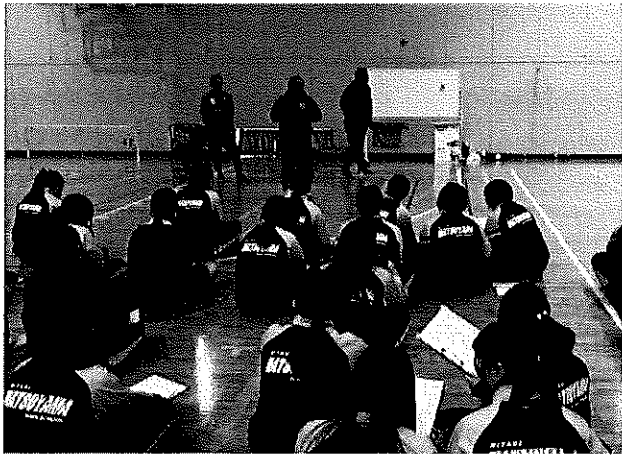


事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 宮城県 】

学校名【 宮城県松山高等学校 】

1 実践テーマ	①・II・③・IV・⑤（複数選択可）
2 実施対象者 (学年・人数)	1学年：61名(男子：8名 女子：53名) 2学年：60名(男子：14名 女子：46名)
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (保健体育) ② 行事名 (松山高校ブラインドサッカー体験会) ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	(1) 代表的なパラリンピックスポーツであるブラインドサッカーについて理解を深める。 (2) ブラインドサッカーを体験し、その楽しさを味わう。 (3) インクルーシブな社会（共生社会）構築のために必要な、多様な個性をもった他者を思いやる気持ちを醸成する。
5 取組内容	<p>コルシャ仙台ブラインドサッカークラブ代表である浦沢真人氏とサポートスタッフ2名の計3名の講師の方々による、ブラインドサッカーに関連する活動を行った。</p> <p>アイマスクをつけ、目が見えない状態の中で、仲間と協力しながら、与えられた指示や目的を達成する活動は、仲間との連帯感や思いやりといった点について非常に深い理解を得られたと感じる。</p> <p>活動の中では、終始、生徒たちの楽しそうな笑顔や、仲間を献身的に支援しようとする様子が見られ、大変高い教育的な効果があったと感じる。</p> <p>また、講師によるブラインドサッカーについてのお話や、視覚障がい者についてのお話は、非常に重みのあるものであり、生徒たちに障がいをもった方たちへの理解を深めるとともに共生社会についての考えも深めることができた。</p> <p>生徒たちにとってとても学びと気づきのある体験・学習の場となった。</p>
	



6 主な成果	<ul style="list-style-type: none"> (1) 生徒同士の連帯感の強化を図ることができた。 (2) 視覚障がい者への理解を深めることができた。 (3) 他者を思いやる心を醸成することができた。 (4) パラリンピックについての理解を深めることができた。 (5) スポーツの新たな魅力に気づかせることができた。
7実践において工夫した点 (事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> (1) サッカーに対する意欲が高い傾向が見られ、種目を設定した。 (2) 司書教諭の協力のもと、ブラインドサッカーについて、事前に周知できるような掲示およびブースを校舎内昇降口前に設置した。 (3) けがや事故が絶対に発生しないように、講師陣と連携し、安全面に十分留意し活動させた。
8主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> (1) 今回の体験・学習をより深められるような指導計画およびカリキュラムの構築。 (2) 年間を通した、継続的な指導体制の構築。 (3) ゆとりをもった、活動の計画と実践。
9来年度以降の実施予定	<p>次年度以降も継続してブラインドサッカーを中心としたオリンピック・パラリンピックに関連する体育的行事を実施したい。また、体育という教科だけでなく他教科等とも連携を図り、より意義深い事業を実施していきたいと思う。</p>